

## 個別支援教育の推進 ～すべての生徒のWell-beingの実現に向けて～



郡山萌世高等学校長 矢崎 芳朗  
本校は、2001年4月、「世に萌え出づる」という願いを校名に込め、全国にも例を見ない駅前ビルの中にある高校として開校しました。開校当初より「生徒一人一人を真に大切にする教育」を基本方針として、学びたいと思う自分に合った学び方で学べる学校づくりに取り組んできました。

すなわち、本校では、午前10時過ぎに始まる定時制課程・昼間主コース、夕方から始まる定時制課程・夜間主コース、日頃は自習し、主に日曜日に通学する通信制課程、さらには社会人のための科目履修制度等、学ぼうとする人の経験や生活状況に合わせて様々な学び方ができるシステムを持っています。

これらの方針や、多様な生徒を受け入れるシステムのもと、本校は2022年度から、県の個別支援教育推進校の指定を受け、一人一人に寄り添った様々な取組を行っています。

今年度も「中学校までの学び直し」など学びの状況に応じた指導や個別相談の充実、個別支援教育コーディネーターとスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等による協働、医療や福祉等関係専門機関との連携、校内居場所づくり「萌世カフェ」の運営等の取組を更に充実させてまいります。

また、2024年度からは、文部科学省から「DXハイスクール」の指定を受け、デジタル人材の育成のみならず、DX事業と個別支援教育のコラボレーションを推進しております。今年度は、「DXルーム」の設置による多様な学習機会や学習方法の確立や、「eスポーツ愛好会」の創設による生徒が楽しみながら取り組む主体的活動や共有体験の推進を目指しております。

今年度も、全ての本校生徒と、本校入学を目指す皆さんの幸せ(Well-being)の実現に向け、本校教職員一同、全力で個別支援教育の推進に取り組んでまいります。

### 校名の由来「福島県立郡山萌世高等学校」

「萌」は草木が芽を出すことを意味し、物事の起りりや、起る兆しを表す言葉。萌世は生まれ変わる(萌生)からの連想による造語で、本校が21世紀初年の開校であり、新世紀にともに芽生え、大きな成長と発展が遂げられる、との願いが込められています。

### 先輩からのメッセージ



渡邊 南徳(郡山二中)  
定時制昼間主コース

郡山萌世高校は、個別支援教育に力を入れている学校のため、何か悩みがある時などは、とても相談しやすい環境であるから、学校生活を安心して過ごすことができます。また、eスポーツ愛好会が発足したり、プログラミングによるドローンを操作する学びが導入されたりと、今一番魅力があふれている高校だと思います。私もeスポーツ愛好会に所属しているのですが、全くの初心者なので戸惑うことが多いです。しかし、頼れる仲間や親切な先生方がいるおかげで、助けてもらっているうちに楽しく活動することができます。

郡山萌世高校では、お互いに助け合い、高め合いながら学校生活を送ることができるので、私たちと一緒に新たなスクールライフを築いてみませんか。

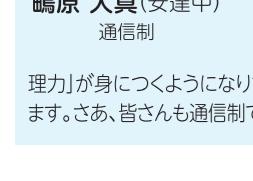


佐久間叶英(船引)  
定時制夜間主コース

夜間主コースでは、自分の体調に合わせて無理なく学ぶことができます。私は朝に体調を崩すことが多く、中学校に通うのが難しい時期がありましたが、このコースでは授業が夕方から始まるため、朝に具合が悪くても、ゆっくり体調を整えてから登校することができます。また、自由に使える時間が長いので、資格取得やアルバイトにもチャレンジしやすく、私にとって自分らしさを大切にできる素敵な居場所になっています。

通信制高校での生活は、毎日登校する必要のない分、自由に使える時間を多くつくることができます。その時間を学校の勉強に充てたり、アルバイトに励んだり、自分の夢の実現のために使ったりと、自分なりの学校生活を送ることもできます。そのためには計画性をもって学習を取り組むことが重要になってきます。「レポートの提出期限を守る」「スクーリングの出席の計画を立てる」等を自分でやらなければなりません。

そうして「自学自習」することにより、自然と「自己管理力」が身につくようになります。ここが、通信制高校で学ぶ最大の魅力だと思います。さあ、皆さんも通信制で学んで、一緒に成長し、夢を実現してみませんか。



鷲原 大真(安達中)  
通信制

通信制課程・通信制課程

福島県立郡山萌世高等学校

〒963-8002福島県郡山市駅前二丁目11番1号  
TEL024-932-1767(代) FAX024-990-1908  
HP <https://housei-h.fcs.ed.jp>

QRコード

QRコード